



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 阪神内燃機工業株式会社
 コード番号 6018 URL <http://www.hanshin-dw.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木下 和彦

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部門管掌 (氏名) 山本 幸二

TEL 078-332-2081

四半期報告書提出予定日 平成25年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	5,440	△4.0	426	△9.4	427	△8.7	257	△10.6
25年3月期第2四半期	5,663	△5.5	470	△26.0	468	△31.8	288	△25.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	16.12	16.05
25年3月期第2四半期	18.04	18.00

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	17,808	10,006	56.1	625.80
25年3月期	17,704	9,734	54.9	609.03

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 9,993百万円 25年3月期 9,726百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,500	0.3	450	△1.0	450	△5.6	270	△2.2	16.91

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	16,009,000 株	25年3月期	16,009,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	39,970 株	25年3月期	38,893 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	15,969,423 株	25年3月期2Q	15,966,814 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
4. 補足情報	9
(1) 受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、円高是正や金融市場の回復に伴い、個人消費や大企業を中心とした企業業績が底堅い動きを見せるものの、消費税増税や海外経済の減速による影響がリスクとして残ります。

世界経済においては、地域格差を示しながらも全般的にやや回復傾向にあると見られておりますが、米国財政政策の不確実性が新興国や発展途上国への経済に打撃を与える可能性があると指摘されております。

当社の関わる海運・造船業界におきましては、世界経済の低迷により需要が大きく落ち込んだ後、依然として回復の兆しが見えにくい状況が続く一方、一部中小手造船所では新船建造への動きが見られるようになっております。当社が主力とする内航船分野につきましては、輸送量の回復にはまだ時間がかかるものの、エネルギー供給構造高度化法の影響による製油所の閉鎖が白油タンカー船の建造を活発化し、復興需要によるセメント船やガット船の引き合いも続いております。また、鉄鋼業界再編による物流の合理化や東京五輪の影響にも引き続き注視しております。海外案件では価格面で厳しい状況が続いておりますが、韓国・中国・台湾の商船や漁船などに引き合いが継続しております。

このような企業環境のもと、当第2四半期累計期間の業績につきましては、受注高は、主機関が増加し前年同期比12.7%増の5,544百万円となりました。売上高は、部分品の落ち込みもあり同4.0%減の5,440百万円となりました。受注残高は、受注・販売が均衡し同0.4%増の3,784百万円となりました。

損益面につきましては、短納期案件の精力的な受注による操業度の確保および海外調達や競争購買による仕入コストの削減、加えて減価償却費負担の減少があったものの、主機関価格の下落と部分品の落ち込みにより、営業利益は426百万円(前年同期比9.4%減)、経常利益は427百万円(同8.7%減)、四半期純利益は257百万円(同10.6%減)となりました。

事業区分別では、主機関の売上高は、輸出が低調であり3,190百万円(前年同期比1.1%減)となりました。部分品・修理工事では国内販売が落ち込み2,249百万円(同7.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は8,712百万円となり、前会計年度末に比べ203百万円増加いたしました。これは主に製品が83百万円減少したものの、現金及び預金が278百万円増加したことによるものであります。固定資産は9,095百万円となり、前会計年度末に比べ100百万円減少いたしました。これは主に投資その他の資産が52百万円増加したものの、有形固定資産が155百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、17,808百万円となり、前会計年度末に比べ103百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は4,514百万円となり、前会計年度末に比べ75百万円増加いたしました。これは主に前受金が68百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が157百万円増加したことによるものであります。固定負債は3,287百万円となり、前会計年度末に比べ244百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が221百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、7,801百万円となり、前会計年度末に比べ169百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は10,006百万円となり、前会計年度末に比べ272百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が209百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は56.1%(前会計年度末は54.9%)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、当第2四半期の実績を踏まえ、平成25年5月13日発表の業績予想を下記の通り修正いたします。

なお、年度後半につきましては、売上高はほぼ計画通りに推移する見込みではありますが、損益面につきましては、主機販売価格下落により採算が悪化する見込みであります。

平成26年3月期通期業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,500	350	350	210	13.15
今回修正予想(B)	10,500	450	450	270	16.91
増減額(B-A)	—	100	100	60	—
増減率(%)	—	28.6	28.6	28.6	—
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	10,470	454	476	276	17.29

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

①固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却及び除却等の見積りを考慮した予算を策定しているため、当該予算に基づく年間償却予定額を期間按分して算定しております。

②棚卸資産の評価方法

当第2四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

2. 特有の会計処理

①税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,696,525	2,975,071
受取手形及び売掛金	3,264,024	3,340,476
製品	527,878	444,432
仕掛品	964,261	890,169
原材料及び貯蔵品	908,081	902,887
その他	303,298	291,933
貸倒引当金	△155,700	△132,600
流動資産合計	8,508,370	8,712,370
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,256,149	1,222,173
構築物(純額)	216,318	205,278
機械及び装置(純額)	816,892	730,373
車両運搬具(純額)	3,042	3,043
工具、器具及び備品(純額)	116,038	95,745
土地	5,817,871	5,817,871
建設仮勘定	12,811	9,066
有形固定資産合計	8,239,124	8,083,551
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	656,120	747,272
その他	329,106	288,875
貸倒引当金	△54,200	△52,700
投資その他の資産合計	931,027	983,448
固定資産合計	9,196,468	9,095,794
資産合計	17,704,838	17,808,164
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,160,170	2,318,149
1年内償還予定の社債	140,000	140,000
1年内返済予定の長期借入金	443,428	443,428
未払法人税等	93,414	176,848
前受金	733,983	665,081
賞与引当金	133,000	136,000
製品保証引当金	21,600	14,000
受注損失引当金	76,200	51,700
その他	637,811	569,446
流動負債合計	4,439,607	4,514,653

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
固定負債		
社債	300,000	230,000
長期借入金	432,860	211,146
再評価に係る繰延税金負債	1,714,667	1,714,667
退職給付引当金	863,803	880,193
その他	219,832	251,037
固定負債合計	3,531,163	3,287,044
負債合計	7,970,771	7,801,698
純資産の部		
株主資本		
資本金	800,598	800,598
資本剰余金	42,424	42,424
利益剰余金	5,592,369	5,801,840
自己株式	△10,320	△10,504
株主資本合計	6,425,071	6,634,358
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	198,021	255,918
土地再評価差額金	3,103,168	3,103,168
評価・換算差額等合計	3,301,189	3,359,086
新株予約権	7,806	13,020
純資産合計	9,734,067	10,006,465
負債純資産合計	17,704,838	17,808,164

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	5,663,781	5,440,016
売上原価	4,143,633	4,075,372
売上総利益	1,520,147	1,364,644
販売費及び一般管理費	1,050,055	938,592
営業利益	470,091	426,051
営業外収益		
受取利息	1,294	1,219
受取配当金	2,524	5,904
その他	8,345	7,113
営業外収益合計	12,164	14,236
営業外費用		
支払利息	12,521	8,449
その他	1,383	4,165
営業外費用合計	13,904	12,615
経常利益	468,351	427,673
特別損失		
固定資産処分損	2,324	291
特別損失合計	2,324	291
税引前四半期純利益	466,027	427,381
法人税等	178,000	170,000
四半期純利益	288,027	257,381

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	466,027	427,381
減価償却費	237,712	197,839
賞与引当金の増減額(△は減少)	—	3,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△35,690	16,390
貸倒引当金の増減額(△は減少)	18,200	△24,600
受注損失引当金の増減額(△は減少)	—	△24,500
受取利息及び受取配当金	△3,818	△7,123
支払利息	12,521	8,449
固定資産処分損益(△は益)	2,324	291
売上債権の増減額(△は増加)	△78,057	△148,380
たな卸資産の増減額(△は増加)	333,764	162,732
仕入債務の増減額(△は減少)	△461,314	157,978
その他	29,817	△13,773
小計	521,486	755,687
利息及び配当金の受取額	9,265	11,179
利息の支払額	△11,939	△7,863
法人税等の支払額	△98,703	△86,562
営業活動によるキャッシュ・フロー	420,109	672,441
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△500,000	△1,200,000
定期預金の払戻による収入	1,300,000	1,500,000
有価証券の売却による収入	10,495	—
有形固定資産の取得による支出	△75,843	△54,259
無形固定資産の取得による支出	—	△5,185
投資有価証券の取得による支出	△1,187	△1,263
その他	1,522	6,063
投資活動によるキャッシュ・フロー	734,988	245,355
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△221,714	△221,714
社債の償還による支出	△70,000	△70,000
自己株式の取得による支出	△267	△184
配当金の支払額	△48,125	△47,353
財務活動によるキャッシュ・フロー	△340,106	△339,251
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	814,990	578,545
現金及び現金同等物の期首残高	1,902,389	2,246,525
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,717,380	2,825,071

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 受注及び販売の状況

(i) 受注の状況

(単位 百万円：未満切捨)

区 分		前年同四半期 (累計)	当四半期 (累計)	(参考)前期
		〔平成24. 4. 1 から 平成24. 9. 30 まで〕	〔平成25. 4. 1 から 平成25. 9. 30 まで〕	〔平成24. 4. 1 から 平成25. 3. 31 まで〕
受 注 高	主 機 関	2,482 (50.5%)	3,295 (59.4%)	5,306 (55.1%)
	部 分 品 ・ 修 理 工 事	2,437 (49.5%)	2,249 (40.6%)	4,329 (44.9%)
	合 計	4,919 (100.0%)	5,544 (100.0%)	9,636 (100.0%)
受 注 残 高	主 機 関	3,770 (100.0%)	3,784 (100.0%)	3,679 (100.0%)
	部 分 品 ・ 修 理 工 事	- (-)	- (-)	- (-)
	合 計	3,770 (100.0%)	3,784 (100.0%)	3,679 (100.0%)

(ii) 販売の状況

区 分		前年同四半期 (累計)	当四半期 (累計)	(参考)前期
		〔平成24. 4. 1 から 平成24. 9. 30 まで〕	〔平成25. 4. 1 から 平成25. 9. 30 まで〕	〔平成24. 4. 1 から 平成25. 3. 31 まで〕
主 機 関		3,226 (57.0%)	3,190 (58.6%)	6,140 (58.6%)
部 分 品 ・ 修 理 工 事		2,437 (43.0%)	2,249 (41.4%)	4,329 (41.4%)
合 計		5,663 (100.0%)	5,440 (100.0%)	10,470 (100.0%)
(うち輸出分)		(1,167) (20.6%)	(681) (12.5%)	(1,727) (16.5%)